
アクサン・シルコンフレスク

†クロナガ†

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アクサン・シルコンフレスク

【Nコード】

N4658N

【作者名】

ナクロナガナ

【あらすじ】

それは無意味が重なった話。

ところでエドガー君、君はアクサンシルコンフレスクというものをご存知かね。

そう言い出したのは禿げた頭に雑草のような毛を生やしたジジイだった。

いいえ先生、僕はそのようなものについて、聞いたことも習ったこともございません。

と切り替えたのはクラスでもたいした成績ではない、いまいち冴えない少年である。

そうか、そうか。調べてレポートを出すがい。君にはそういう宿題を出そう。さあ義務だ。あとは任せた。楽しみにしてるぞ。咳払いをひとつ、そして雑草頭をボロい校舎へ吹きすさぶ風に揺らしながらどっかにいった。

アクサン・シルコンフレスク

^

通称…アクサン　シルコンフレスク
以上

なんてレポートを出す阿呆、さすがにエドガーはそこまで阿呆ではなかった。

最近ジャパニメーションらしきものに没頭している自称「otaku」な友人↑（仮称）から、操作するのが大っ嫌いなパソコンをうばt・・・借りた。

そこで早速インターネットを開く。どこで仕事しているかわかんない親父に聞いたらすんなり教えてくれた。昨日オフィスで開き方をようやく教わったらしい。

親父は早速今日見につけたばかりの文字入力術（自称…部署内最速）で、40分かけて調べ上げた。

それを、ずっとゲームやりながら見てた。

結果、 $\wedge$ だった。もう一度言う、 $\wedge \uparrow$ だった。

アクサンシルコンフレスク $\parallel \wedge$

エドガーはすぐさま理解した。

1 それは、 $\wedge$ だと。

2 それは、乗数記号だと。

3 友達（仮称）は日本の顔文字で使うといていた…（

おいエドガー、どうだいお父さんの力は。どうやらあれは $\wedge \uparrow$ こういう記号らしい。

最近親父は毛の量が少し増えた。

それより風呂はいつたら？お父さんずっとパソコンの前でひとりで夢中になってて皆もう寝にいつちゃったよ。

レポートを書きながら言う。

おっとそれはまずい。すぐ入ろう。

父は汗臭い（加齢臭？）シャツを脱ぎながらさっさと風呂へと向かった。

レポート…アクサン シルコンフレスク

これは $\wedge$ という記号名だとわかった。

これは本来乗数の前に用いるということがわかった。

でも僕はこれがそういうものに思えません。

友達が言っていました。これは日本では笑顔のマークで使うって。

（ $\wedge \parallel \wedge$ ）と、このように表記したりするそうですが、いくつもの通りがあると聞きます。

よって、アクサン シルコンフレスクは、皆の中で、そして僕の中では数学記号ではなく笑顔の象徴です。

一枚の紙切れが教諭の前に置かれている。

ここは自分のオフィス、つまり、職員室だ。

ふむ、中々新しいアイデアではないか。関心関心。
さて、と。

その担当のじいさんは個票を取り出した。

減点つと。

それは結局評価に響かなかったという。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4658n/>

アクサン・シルコンフレスク

2010年10月9日15時33分発行